



野建環第 249 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

野辺地町長 亀田 道隆



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました標記の件について別添
のとおり提出します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 道路整備の優先順位を明確化したスピーディな取組が必要 → 個別事業の供用目標を明示し、スピードアップを図るなどのスケジュール管理を徹底する。

2. コスト縮減に向けた取組の促進

道路整備 → 新技術の活用や工程の見直し、地方の特性に応じた柔軟な道路構造の採用等、地方の裁量を拡大してコストの削減を図る。

道路管理 → 日常の道路維持管理(清掃、除草等)は、利用者の了解が得られる程度まで抑え、コストを減らす努力が必要と考える。

3. 交通事故対策

交通事故多発箇所における事故対策や歩道設置を積極的に行って安心して通行できる人優先の歩行空間の整備を推進する必要がある。

4. 高速ネットワークの推進

高速道路、高規格幹線道路については、ネットワークが形成されて始めてその効果が現れることから国の責任で積極的に整備を図るべきである。

5. 除雪、防雪などの災害対策

青森県の道路事情についてのアンケートの中で、冬場の除雪・排雪が十分でないが不満に感じる第1位となっていることから冬期間の道路交通確保を図る必要がある。

6. 生活幹線道路の整備

救急医療ネットワークの向上や、地域の生活等を支える生活幹線道路の整備を推進する必要がある。

7. 道路整備予算について

道路特定財源は平成21年度から一般財源化されることになるが、地方の道路整備はまだまだ遅れていることから一般財源化されても閣議決定された基本方針どおり「必要と判断される道路」については着実な整備を望む。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

当町は、古くから交通の要衝として文化の栄えた歴史豊かな町であるが、国の「三位一体改革」等により、その結果として当町を含む多くの自治体では地域経済の低迷などから住民所得が増加せず、厳しい財政運営を強いられ、いわゆる富める自治体とそうでない自治体の格差はますます拡大してきている。

こういった社会情勢にあって、各自治体は地域の実情を斟酌しながら自ら創造して自主自立の独自経営が求められているものと感じており、そこで当町は今、「財政の再建・健全化」を行政運営の基盤に据えながら「野辺地町に住んでよかった」と実感できる地域づくり、いわゆる「生活創造社会の構築」の実現に向けて「心豊かな人づくり」「いのち豊かな健康づくり」「経済豊かな商店街づくり」「自然豊かな観光都市づくり」「笑顔豊かな安全安心町づくり」の5つのまちづくりプランを重点的に展開しているところである。

この重点施策の具現化のための方策としては、企業誘致による雇用の拡大や、港湾・漁港整備の推進による産業観光振興、農産物などの野辺地ブランド化、学校施設の整備充実等々、各種の施策を掲げて取組んでいる。

また、町民から要望の強い生活道路の整備や歩道設置などの交通安全対策としての道路整備、幹線道路の整備促進、冬期間の除雪対策にも重点的に取組んでいるところである。

○課題

- ・ 財政が厳しいことから予算を確保できないことが最大の課題である
- ・ 国道4号への歩道設置や交差点改良を要望し、即座に対応していたいたものもあるが、歩道についてはまだまだ未設置区間があるので、早急な整備が必要である。
- ・ 県道、県管理の国道整備を定期的に要望しているが、県も町同様に財政が厳しいことから中々整備が進まない。

②-2 地域の目指すべき将来像

青森県 野辺地町

町の第4次総合開発計画の目指す将来像の中で、道路関連の主要な事項は次のとおりである。

○ 快適で住みよい野辺地ならではの生活環境の創造

- ・ 福祉の視点を取り入れた道路の計画的な整備を進めます。
- ・ 道路や歩道などのバリアフリー化を促進します。
- ・ 通勤、通学者や高齢者が日常的に利用する街路、特に冬期間の歩行の安全確保を重点とした道路環境の整備を促進します。
- ・ 交通安全施設等の整備の促進を図ります。
- ・ 災害に対応できる公共施設や避難道路、非難場所の整備を促進します。
- ・ 電線類の地中化を検討します。
- ・ 克雪、親雪、利雪の総合的な雪対策計画を策定し、計画的に実施します。
- ・ 流(融)雪溝の計画的な整備と管理運営体制の強化を図ります。
- ・ 歩道の整備と除雪体制の強化を図ります。
- ・ 高齢者世帯などの除雪体制を確立します。
- ・ 親雪、利雪のためのイベント開催や調査研究、モデル事業の導入などをすすめます。

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

青森県 野辺地町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
安心と利便性の向上	下北半島縦貫道路の野辺地ハーフインターチェンジをフルインターチェンジにして利便性を高める。 * 野辺地ハーフインターチェンジ近くに野辺地消防署があり、当町南部(野辺地インターチェンジ方面)へ救急車や消防車が出動する際は、混雑する市街地を通過して出動しているが、フルインターチェンジに格上げし利便性を高める。 参考 公立野辺地病院近くの下北半島縦貫道路に救急車退出路が平成19年12月に設置されている。 (野辺地インターと野辺地ハーフインターの間附近)	- 救急車及び消防車いずれも搬送時間や出勤時間の短縮が図られ、地域住民の安心医療・民生の安定に寄与する。 - フルインターチェンジにすることによって、国道279号バイパスの役割も果たすことになり、道路利用者にとっても利便性が相当高まる。	